

# 広域連合長所信表明

平成28年雲南広域連合議会2月定例会にあたり、速水連合長は、平成28年度予算をはじめ、広域連合運営に関する基本的な考え方と、主要施策について、所信の一端を述べました。

## ①第4次雲南広域連合広域計画

雲南広域連合広域計画は、広域連合を運営するための基本計画であり、第4次計画は、平成28年度から5年間の計画期間とし、昨年8月より構成市町の担当者を交えた計画策定委員会並びに担当部局ごとの部会を設置し、検討を行い、議員視察並びに12月の広域連合議会全員協議会でご説明申し上げ、今回、最終調整を図り、計画策定を行ったところです。

計画は第3次広域計画の基本方針である、ふるさと市町村圏計画の理念である「ゆうきの里 雲南 く匂を感じ、生命を育む」を今後も継承し時代の変化や地域の要求に対応できる広域行政の推進を掲げました。また、雲南地区ふるさと市町村圏振興事業基金を存続し、ソフト事業を従来どおり実施していくこととしました。この他に今回、まち・ひと・しごと創生法により構成市町が策定した総合戦略に挙げられている共通部分について調査研究を行うこととしました。

また、雲南地区ふるさと市町村圏計画は、広域計画の実施計画と位置付け、広域的な地域振興施策の方向性を、より具体化していくため

のものであります。

広域計画及びふるさと市町村圏計画とも、構成市町とより一層の連携を図りながら、広域行政の更なる推進に取り組んで参ります。

## ②地域振興事業

先般1月23日、24の両日、今年で第19回目となります「島根ふるさとフェア」が広島市で開催されました。

あいにくの寒波直撃により来場者数が過去最低の11万2千人であり、昨年の3分の2の人出となりましたが、雲南ブースでは、雲南の地酒を振舞ながら雲南の観光、物産等の情報発信を行いました。また、三刀屋太鼓振興会の皆様のほか、出店いただきました24団体、おくいずも女子旅つくる委員会、ご当地キャラクターの皆様に盛り上げていただきました。

中国やまなみ街道全線開通に伴い昨年から取り組んでいます、うなん観光ネットワーク協議会の構成団体と連携しての山陽方面を中心とした「近くなつた雲南」のPRを一層推進して参ります。先般2月12日からの3日間、吉備路に春を告げるだるま市・植木市として約30万人の人出でにぎわう三原神明市に雲南の特産品販売と観光PRのため初出店し、多くの方々に出雲そば、島根和牛やイノシシ中華饅等を堪能していただきました。三原市の全面協力により市有地をお借りするとともに地元有線テレビや中国新聞でも取り上げていただきました。

当日、三原市天満市長より今後の地域間交流の促進についての協力をお約束いただきましたので、今後、相互連携による交流の促進に努めて参る所存であります。

併せて、新年度より雲南市を窓口「地域おこし協力隊員」1名を配置し、外から見た雲南地域の魅力の発信等による観光・誘客事業の推進並びに地域振興を進めて参ります。

また、昨年度、制定しました「雲南の地酒で乾杯を推進する条例」の

目的である、郷土の財産である雲南の地酒の魅力を発信し、地域文化の理解の促進と地域経済の振興を図るため、「出雲で日本の酒造りの源流を辿る」をテーマに、酒と稲作と人々の関わりを探索する「生き物文化誌学会しまね雲南例会」が5月14日に加茂文化ホールラメールにおいて開催されることが決定しました。全国の会員及び一般参加者200名規模の学会であり、おおいに雲南の地酒の魅力や地域文化・情報の発信に繋がるよう当広域連合として協力して参ります。

### 3 介護保険事業

平成27年度からの「第6期介護保険事業計画」の基本理念である「高齢者がいつでも自分らしく幸せな生活を続けられる地域」となることを目指し、必要な介護サービスの基盤を整備していくと同時に、介護・医療、住まい、生活支援、介護予防が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築に向け取り組みを一層進めて参ります。

特に平成29年度からは、これまでの一次・二次の介護予防事業から訪問型・通所型サービスによる新しい介護予防・日常生活支援総合事業へ移行を予定しています。それに向けて被保険者、構成市町並びに介護施設事業者への準備作業を今年度しっかりと進めて参ります。

また、新年度から新たにふるさと市町村圏振興基金による介護施設従事者育成確保事業として、介護施設の人材不足解消の取り組みを進めて参ります。

### 4 消防業務

昨年1年間の出動件数は、火災が45件と前年より10件増、救急が2,232件と前年より83件増と共に増加いたしました。救助は63件で前年と同件数でありました。

近年、複雑多様化、高度化する消防需用への対応や過疎化、高齢化により住民の安心・安全への関心が年々高まっていることから消防力

の一層の整備・充実を図っていく必要があると考えます。そのため、本定例議会へ職員定数条例の一部を改正する条例を提案いたしました。これは、他の公共団体への派遣等により所属において勤務しない職員を定数外とし、広域連合の運営体制の充実を図って参るものであります。また、本年度から2力年で整備が進められております「島根県防災情報ネットワークシステム再整備事業」により防災関係機関専用の衛星系通信施設の整備・充実に努めて参ります。

### 5 環境衛生業務

永年、松江市からのし尿処理事務を受託処理して参りましたが、この度、松江市において新たなし尿処理施設が完成し、この4月から直営処理することとなり、27年度末をもって事務の委託を廃止する協議申し入れがありました。これを受けし尿処理に関する事務の受託の廃止について議案を提案いたしております。また、広域連合規約の改正が必要となりますので、構成市町の3月定例議会へ規約改正議案を提案いただくよう進めておりますので、よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

### 6 下水道事業

汚泥共同処理施設整備事業について、平成25年度より事業着手し整備を進めてまいりましたが、いよいよ28年度が最終年となりました。機械設備工事並びに電気設備工事については、それぞれ工場製作が順調に進められております。土木建築工事につきましては、地質調査の結果、設計とは異なる地盤線であることが判明し、設計変更が必要となります。補正予算において1億2千3百万円の繰越明許費を計上しておりますが、本年11月頃には各工事を完了し、その後、機能調整を行い当初計画どおり29年3月の完成に向け関係機関と連携し鋭意努めて参ります。